

井原市公共交通会議（第6回） 会議概要

と き 平成25年2月18日（月）

15:30～17:00

ところ 市役所 4階 大会議室1・2

1. 開 会

1) 会議の成立を報告

・出席者 委員 23名中 実出席 16名 代理出席 4名

2) 三宅会長あいさつ

2. 報 告

岡山大学との交通まちづくり共同研究事業の中間報告について

・橋本委員説明

(三宅会長) 委員のみなさんからご質問等はないか。

(委 員) アンケート調査の回収率が高く、公共交通に対する市民の関心の高さがうかがえる。生活行動の時間軸を基準にしてダイヤを組み立てることが、公共交通の潜在需要を掘り起こすのに重要であると理解した。

質問であるが、「通院がある場合、午前中に済ませて帰宅できることは重要か？」という設問に対して、「とても重要」又は「少し重要」という回答と、「あまり重要ではない」又は「全く重要ではない」という回答の割合が同程度（4割前後）となっているが、それぞれの選択肢を選んだ人に特徴的な傾向はあるか。

(委 員) 「重要ではない」という回答は男性が多く、「とても重要」又は「少し重要」は主婦（女性）が多い。食事の準備等をする主婦にとっては重要度が高いが、全体で見れば、外食する人や、通院とほかの用事とを組み合わせる人も多いので、回答結果が分散していると考えられる。

参考までに高梁市の事例を紹介したい。ある病院において、バスが着いてから帰りの便までの間隔を1時間半から2時間強に延ばしたところ、利用者が約2倍に増加した。今回のアンケート調査では、通院先での平均滞在時間は118分となっており、こうした点を考慮したバスのダイヤ設定が、利用者数増加のためには重要であると考えます。

(委 員) 買い物の際に自家用車を使う人が多いとのことであるが、自分も、買い物帰りで荷物が多いときはバスを使いづらいことがある。足腰が不自由な人の場合、帰りはタクシー等を使わざるを得ない場合も多いのではないかと。

(委 員) まちづくりと公共交通とを一緒に考える必要がある。昨年実施した同様のアンケート調査結果によると、買い物の際には、自分が商品を選んで買いたいというニーズが高い。単純に公共交通だけを整備しても利用が増える状況にはないので、別のサービスと組み合わせることで市内で商品が循環する仕組みを構築することが重要である。

(委 員) 自分は、1日の行動予定を立ててバスに乗るようにしている。

(三宅会長) あらかじめ計画してバスを利用してはということだと思ふ。

定期的な調査を続けることで数値の変化も把握できる。次回の公共交通会議では本年度調査の最終報告をいただけるとのことなので、よろしくお願ひしたい。

3. 協 議

1) 井原あいあいバス（野上線・ぶどうの里線）運行経路の変更（案）について

・ 事務局説明

（三宅会長） 危険であるという地域住民からの指摘を受け、朝の第1便だけ経路が変わるということである。委員のみなさんからご質問等はないか。

（三宅会長） 迂回運行による運転時分への影響はあるか。

（事務局） ほとんど影響ない。

（三宅会長） ほかにご質問等がなければ、原案のとおり承認してよいか。

委員拍手（協議事項承認）

2) 自家用有償旅客運送（芳井・美星）運行経路の変更（案）について

（三宅会長） 委員のみなさんからご質問等はないか。

（三宅会長） 美星地区は進行方向が毎年変わるが、市民への周知はなされているか。

（事務局） ダイヤが決まった段階で全世帯に時刻表を配布することにより、周知している。芳井地区については、学校を通じて保護者に周知している。

（三宅会長） 周知を徹底して、より多くの方に利用していただきたい。

ほかにご質問等がなければ、原案のとおり承認してよいか。

委員拍手（協議事項承認）

3) その他

（三宅会長） そのほかで委員のみなさんからご意見等はないか。

（委員） 3点質問したい。1点目であるが、井原市では毎月の最終金曜日を「公共交通利用の日」に設定しているが、その日における公共交通の市職員の利用状況はどうか。また、更なる拡大（月1回から週1回へ等）について、考えはあるか。次に、昨年秋より、市民病院を経由するバスが増えているが、病院職員の通勤での利用状況を把握していれば伺いたい。

最後に、通勤手段をマイカーから公共交通に転換してもらえよう、市として働きかけを行ってはと考えるが、どうか。

（事務局） 「公共交通利用の日」については、岡山県の県民運動にあわせて最終金曜日に設定している。当該日の市職員の利用状況は、毎月20～30人程度である。市民病院職員の通勤での利用状況については、調査を行った上で今後の公共交通会議において報告したい。

平成25年度も、公共交通に関する様々な啓発活動に取り組む予定である。公共交通に触れる機会の増加が、公共交通の利用増加に繋がると考えている。今後も、みなさんの意見も取り入れながら、様々な事業に取り組んでいきたい。

（三宅会長） 市をあげて公共交通を利用しようということである。私にとっても耳が痛い話であるが、意識をして公共交通を積極的に利用したい。

（委員） 公民館の体操教室の参加者と話をしたところ、井原鉄道には1日乗り放題の「ホリデーパス」があることを参加者の半数が知らなかった。広報誌等による周知も大切であるが、地域の会合（老人会や事務会等）において周知してもらうことも効果があるのではないか。

（委員） 井原鉄道では、昨年に値下げをしたホリデーパスのほかにも、「おかやま愛カード」所持者の運賃半額割引等の取組を行っている。これからも、市や関係機関と

連携して、周知を図りたい。

(三宅会長) ご意見をいただいた井原鉄道に加え、タクシーも公共交通の一躍を担っているの
で、今後もこの場で様々な取組を紹介していただき、利用してもらうための方策
をみんなで考えていきたい。

(委 員) 井原あいあいバスに週 2~3 回乗車するが、先日、座席に預金通帳 2 冊と現金の
忘れ物があり、運転士に届けたところ、後日、忘れ物をした方が見つかり感謝さ
れたことがあった。こういうこともあるものだなあと驚いた。

(三宅会長) 運転士や利用者を含む市全体が、あたたかい気持ちで公共交通を支えているとい
うことの表れだと思う。

委員のみなさんから、ほかにご意見等はないか。

事務局から何かあるか。

(事 務 局) 追加で報告をさせていただきたい。

井原～福山線の運行ダイヤに関し、前回の公共交通会議以降に障害を持たれてい
る方の団体から寄せられた 3 点の要望について、この場で報告したい。

1 点目として「現在の路線・ダイヤを存続させてほしい」という要望があった。
これには、4 月以降も存続するという対応している。

2 点目として「午後の時間帯に、福山発を 1 時間に 1 本程度運行してほしい」と
いう要望があった。これには、1 時間に 1 本とまではならないが、現在の暫定運
行ダイヤから平日、土日祝日とも、午後に福山発の 2 便を増便している。

3 点目として「土曜日でも井原側の始発を 6 時 30 分にしてほしい」という要望が
あった。これには、6 時 30 分発とはならないが、暫定運行よりも早い 7 時 5 分
発の便を設けることで一定の対応をしている。

なお、本年の 10 月にはダイヤの見直しについて検討する機会があるので、特に
住民代表の委員のみなさんには地域の意見を聞いて、事務局へお届けいただきた
い。

(三宅会長) これからも、各方面の意見を聞いてダイヤに反映するようにしてほしい。

4. 閉 会

仁科副会長あいさつ